

音楽科	1年	年間45時間(1. 5時間/週)
-----	----	------------------

1 年間計画

学期	月	単元	章(小単元)
1 学期	4	①新しい仲間と共に明るい歌声を響かせよう。	①「玖島中学校校歌」 ・単元テスト
	5	②混声三部合唱に親しもう。	・歌唱実技テスト
	6	③音楽の特徴に注目しながら、情景を思い浮かべよう。	「W'll find the way」 「その先へ」 My Voice ! (発声法) 音楽の約束 ・単元テスト
		④曲想を感じ取って、器楽表現を工夫しよう。 ⑤曲の構成を感じ取って、歌唱表現を工夫しよう	②合唱コンクール課題曲「夢の世界を」 ・歌唱実技テスト ③鑑賞「春」 ・単元テスト ④器楽「聖者の行進」「喜びの歌」 ⑤「主人は冷たい土の中に」 ・単元テスト
2 学期	7	⑥曲想やパートの役割を感じ取って、歌唱表現を工夫しよう。 ⑦日本の歌のよさや美しさを感じ取って、歌唱表現を工夫しよう。	⑥合唱コンクール自由曲 ・歌唱実技テスト ⑦「浜辺の歌」「赤とんぼ」 ・単元テスト ・歌唱実技テスト
	8	⑧曲想と音楽の構造との関わりを理解して、その魅力を味わおう。	⑧鑑賞「魔王」 ・単元テスト
	9		
	10	⑨音のつながり方の特徴を生かして、創作表現を工夫しよう。	⑨創作 My Melody
	11	⑩日本の民謡やアジアの諸民族の音楽の特徴を感じ取ってその魅力を味わおう。	⑩鑑賞 日本の民謡、アジアの諸民族の音楽 ・単元テスト
	12	⑪日本に古くから伝わる合奏に親しみ、その魅力を味わおう。	⑪鑑賞 雅楽「平調 越天楽」 ・単元テスト
3 学期	1	⑫箏曲の特徴を感じ取って、その魅力を味わおう。	⑫箏曲「六段の調」 器楽「さくらさくら」 ・単元テスト ・器楽実技テスト
	2	⑬曲の構成や曲想の変化を生かして、歌唱表現を工夫しよう。	⑬卒業式歌「君が代」「校歌」「大村市歌」
	3		

2 学習評価

観点	評価規準	評価の方法	
		形成的評価(日々)	総括的評価(通知表)
知識・技能	・曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	〈知識〉 ・単元テスト 〈技能〉 ・実技テスト ・授業での取り組み	〈知識〉 ・単元テスト 〈技能〉 ・実技テスト ・授業での取り組み
思考・判断・表現	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。	・ワークシート ・学級やグループでの発言	・実技テスト ・単元テストの思考する問題
主体的に取り組む態度	音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	・授業での発言 ・振り返り表	・実技テスト

- 形成的評価...日々の学習において、成果(できたこと)や課題(できなかったことや次に目指すこと)をつかみ、復習したり次の学習に課題をもって取り組んだりするための評価
- 総括的評価...各学期や年間をとおしての学習の成果がどの程度であったかを示す評価
- 通知表の評定について...3観点を総括して、5～1の5段階で示す

3 学習のポイント

- 教科書(「中学生の音楽1」(教育芸術社)、「中学生の器楽」(教育芸術社))ソプラノリコーダー、ファイル、バインダー、筆箱を毎時間準備します。
- 授業は、第1音楽室で行います。学習係は、前日に教科担任に確認をして学級で連絡してください。
- 題材後に、単元テストを実施します。定期テストはないため、知識の成績は、単元テストの結果が主となります。課題やワークシートでは、思考する課題に取り組み記述したり、思考する問題(授業で学習した内容を活用する問題)のテストに挑戦したりします。